

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 新居浜市立船木中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒792-0856
愛媛県新居浜市船木甲3754番地の1

E-mail : funj-ad@esnet.ed.jp

Website : http://funaki-j.esnet.ed.jp/cms/

児童生徒数：男子 108 名 女子 100 名 合計 208 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (経済)

3. 活動内容

1 テーマ（主題）

環境・経済・人権の視点から、持続可能な発展を目指し、私たちはどのように生き抜けばよいのか考えよう。

2 主な活動内容について

環境の視点からは、自然環境や社会環境、防災、郷土（ふるさと）等を学習対象にして直接調査を行い、他地域との環境と比較しながら自己との関わりについて考えて活動した。具体的には1年では別子銅山の近代化産業遺産についての直接調査や、地域の長寿会を学校に招いてしめ縄づくりを行った。2年では新居浜と京都との社会環境を比較し考察をした。3年では新居浜の自然環境と社会環境について総合的に考察した。また、全校では地域清掃ボランティアや防災学習会の活動を通して環境と自己の関わりについて考えた。

経済の視点からは、自分の生き方やキャリアを学習対象にして、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を養い活動した。具体的には2年で行う職場体験学習や、3年で行う一日体験学習に伴う活動を通して、経済と自己の将来の生き方との関連について考えた。

人権の視点からは、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、アイヌの人々、外国人、HIV 感染者・ハンセン病患者等、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、インターネットによる人権侵害等について、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」視点から学習を行った。具体的には各学年における人権・同和問題学習を通して人権と自己との関わりについて考えた。

3 本年度における特徴的な具体的取組について

(1) 環境の視点からの活動の充実



（花いっぱい運動＜7月＞の様子）

（花いっぱい運動＜10月＞の様子）

新居浜 I Cから国道 11 号線までの道の両側を花いっぱいにするために、長寿会や連合自治会、NPO、PTAと協力して季節の花のプランターを作った。活動は全校生徒で7月上旬に夏用のプランターを作り、10月下旬に秋・冬用のプランターを作り沿道に設置した。

